

UMI UNDERWATER EQUIPMENT
UU-A7R IIIハウジング 取扱説明書
 for SONY a7R III/a7 III



このたびは UU-A7R IIIハウジングをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用になる前に本書をよくお読みいただき、十分にご理解のうえ正しくお使いください。

お客様の取り扱い上の不注意によって、ハウジング/カメラ/レンズ/その他アクセサリなどの破損/損傷などが生じた場合、弊社はその一切の責任を負いかねます。万一、本製品の不具合に起因する付随的損害（撮影内容や撮影に要した諸費用、撮影により得べかりし利益の喪失など）が発生した場合においても、弊社はその一切の責任を負いかねます。

アフターサービス

保証書

保証書は販売店・お買い上げ年月日等の記入をお確かめのうえ、販売店よりお受け取りください。保証書と保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

修理に出されるときは

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。製品および保証書をお買い上げ販売店までお持ちください。保証期間後も修理によって使用可能なときは、ご希望により有償で修理いたします。製品をお買い上げ販売店までお持ちください。

お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、お買い上げ販売店にお問い合わせください。

販売元

UmiUmi 株式会社
 〒110-0015 東京都台東区東上野 2 丁目 9-1
 MTK ビル 6F
 TEL : 03-6284-2383
 E-mail : info@umiumi.jp
 ホームページ : <http://www.umiumi.jp/>

安全上のご注意 必ずお守りください

- Oリングの取り付けは確実に行う。
- 長い爪やつけ爪でパチン錠を開けたり閉めたりすると、爪が割れたり折れるなどをして怪我をする恐れがあります。
- 砂やホコリなどの多い場所で取り付け作業を行わない。
- ハウジングを落としたりぶつけたりといった強い衝撃を与えない。
- 砂浜や船のデッキ上など直射日光の当たる場所や、車のトランク内など高温となる場所に放置・保管しない。
- 使用後は真水で塩分をよく洗い流した後、タオル等で乾かす。また、火や発熱器具で乾燥させない。
- アルコール・ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や、防錆剤、潤滑剤、艶出し剤などの油脂/化学製品に触れさせない。
- 高湿度下、温度変化の激しい場所に放置・保管しない。
- お子様の手の届かない所に保管する。

お手入れ / 保管

- 使用後は真水で塩水をしっかり洗い流した後、直射日光の当たらない、風通しの良い場所に置いてよく乾燥させてください。
- 高湿度下、極寒の場所、温度変化の激しい場所を避けて保管してください。
- オーバーホールは、1年に1回を推奨いたします。

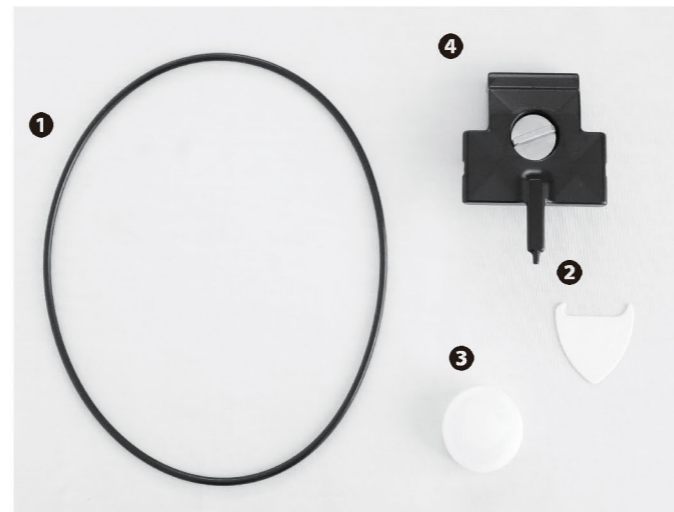
重要事項

UU-A7R IIIハウジングでは、カメラの下記の機能が使えません。あらかじめご了承ください。

- ①コントロールホイール
- ②マルチセレクター

同梱品

ご購入時、以下のものがパッケージに入っているかご確認ください。



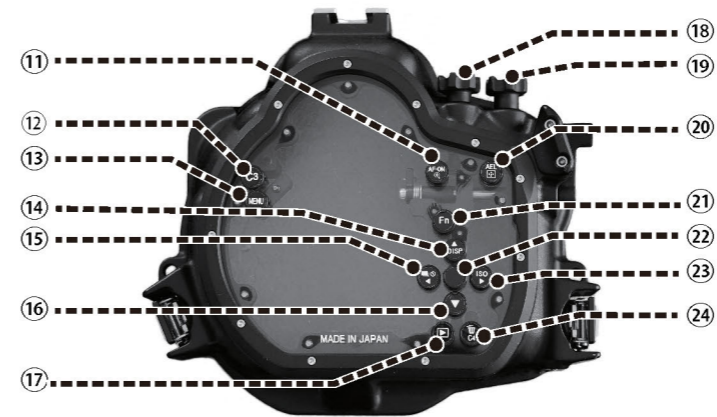
- ① スペア Oリング
- ② Oリングリムカバー
- ③ グリス
- ④ カメラ固定台座

基本カラー

- ・ホワイト
- ・ブラック
- ・ガンメタリック
- ※カラーオーダー可能

主な仕様

適応カメラ：ソニー a7R III / a7 III
 (a7 IIIカメラをご使用の場合は部品交換が必要です)
 ● 主要材質：ABS 樹脂
 ● 寸法：(W)207×(H)185×(D)130 重さ 約 1,520g(カメラ、レンズ、ポート含まず)
 耐圧水深：60M



- ① モードダイヤル ② C2 ボタン ③ C1 ボタン
- ④ ON/OFF スイッチ ⑤ シャッターレバー ⑥ 前ダイヤル
- ⑦ パチン錠右 ⑧ 光ファイバーコネクター
- ⑨ フォーカス/ズームダイヤル ⑩ パチン錠左
- ⑪ AF-ON ボタン ⑫ C3 ボタン
- ⑬ MENU ボタン ⑭ DISP / 上ボタン
- ⑮ ドライブモード / 左ボタン ⑯ 下ボタン
- ⑰ 再生ボタン ⑱ 後ダイヤル ⑲ 露出補正ダイヤル
- ⑳ AEL ボタン ㉑ Fn ボタン ㉒ 決定ボタン
- ㉓ ISO / 右ボタン ㉔ C4 / 削除ボタン

カメラ側の設定 (※重要です。必ずおこなってください)

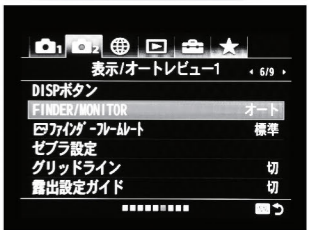
カメラ本体からアイピースカップ、ホットシューキャップ、ストラップなどのアクセサリを取り外します



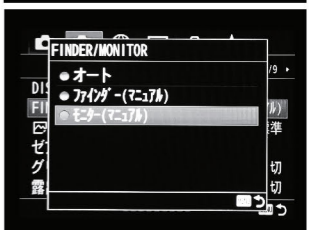
MENU ボタンを押します

左右の十字キーで 2 に移動します

FINDER/MONITOR を選択します



モニター (マニュアル) を選択します



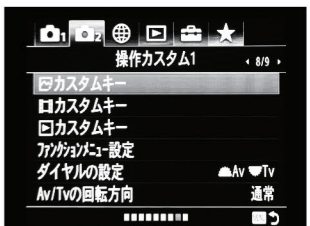
モニターとファインダーを手動で切り替える設定

上記のマニュアル表示先設定をモニターに変えるとファインダーに切り替える事ができません。モニターとファインダーの両方を使う場合は、カスタムキー等に切り替える機能を割り当てることが出来ます。以下の手順で行ってください。



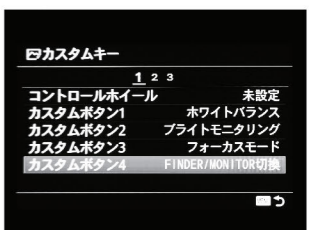
(C4に割り当て)

MENU ボタンを押します
 左右の十字キーで 2 に移動します
 カスタムキーを選択します
 (今回はカスタムボタン 4 に割り当てます)



カスタムボタン 4 を選択
 FINDER/MONITOR 切替を選択します

これで C4 ボタンを押すとファインダーとモニターの画面の切り替えが出来るようになります



カメラのセッティング方法

カメラの三脚穴にカメラ固定ベースを取り付けます



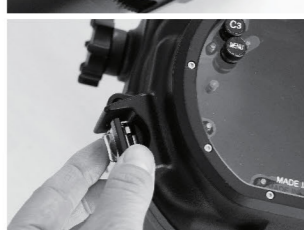
出っ張りがカメラ前面方向になります。向きを間違えないように注意して取り付け下さい



横から見るとこの様な状態になります



ハウジングの左右のパチン錠を開きます。



パチン錠はロック式になっています。ロック解除レバーを押しながらパチン錠を開いて下さい



上部のフックを外し、リアパネルを外します



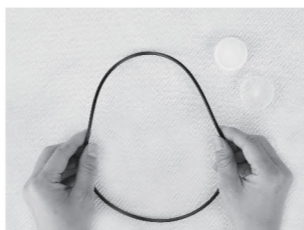
ゴミや埃のない清潔な場所に置きましょう



リアパネル側は、Oリングが当たる溝の外側の平らな部分(5mmほど)をきれいにしてください



指にグリスを適量とって、Oリングにまんべんなく塗ります



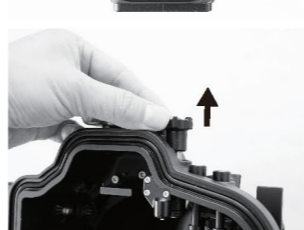
Oリングをハウジングにはめます



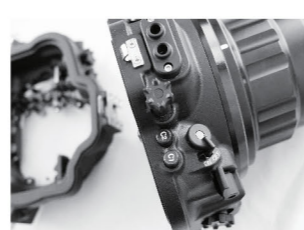
全体をよく見てゴミや髪の毛などが付いていないかチェックしてください



モードダイヤルを上引っ張り上げます



電源がOFFの位置にあるか確認してください



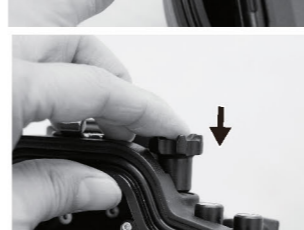
ハウジングにカメラを上からまっすぐに入れます



カメラレンズにフォーカス(ズーム)ギアがついている場合、ハウジング側のギアとカメラ側のギアがちゃんと噛み合い動くかどうか回して確認してください



モードダイヤルを押し戻します



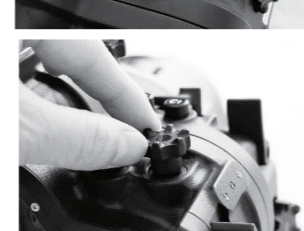
上部のフックを引っ掛けます



左右のパチン錠を開めます
※ロックがかかるか確認してください



最後に電源、各ダイヤルレバーが正常に動くかどうかチェックしてください



ポートの取り付け方

●ポートはバヨネットマウントになっています。ハウジングにカメラを装着するとポートにロックがかかります。ポートが不用意に回らない構造になっています

※カメラがハウジング内にあるとポートにロックがかかります。ポートを取り外すことも取り付けすることも出来ません。必ずカメラがハウジング内に無い状態でポート交換を行ってください



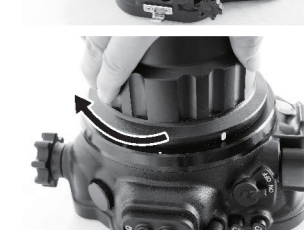
ハウジングマウント上部の●印にポートの●印を合わせます



そのまま真っすぐ上から押さえるように入れます



ハウジングマウント上部の●印にポートの●印を合わせるように時計回りに回します



ダイビング後のメンテナンス方法

水槽やシャワーで海水を洗い流した後、タオルでしっかりと水を拭き取ります



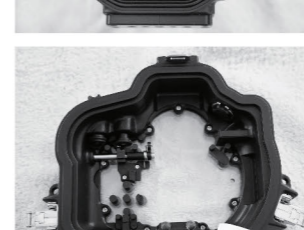
ダイビング後はパチン錠を静かに外すことを心がけましょう。パネルを開けると、構造上Oリングの溝の手前部分に水滴が付いていることがあります



この水滴をティッシュや綿棒などで必ず拭きとってください



同じくリアパネル側の溝の手前にも水滴が付いているので拭きとってください



オプション

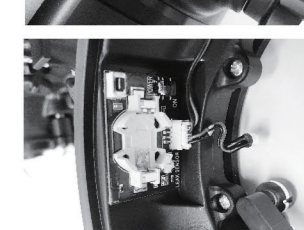
■ UmiUmi フラッシュトリガー



■ シンクロコード 2pin コネクター



■ リークセンサー



■ バキュームコネクター

